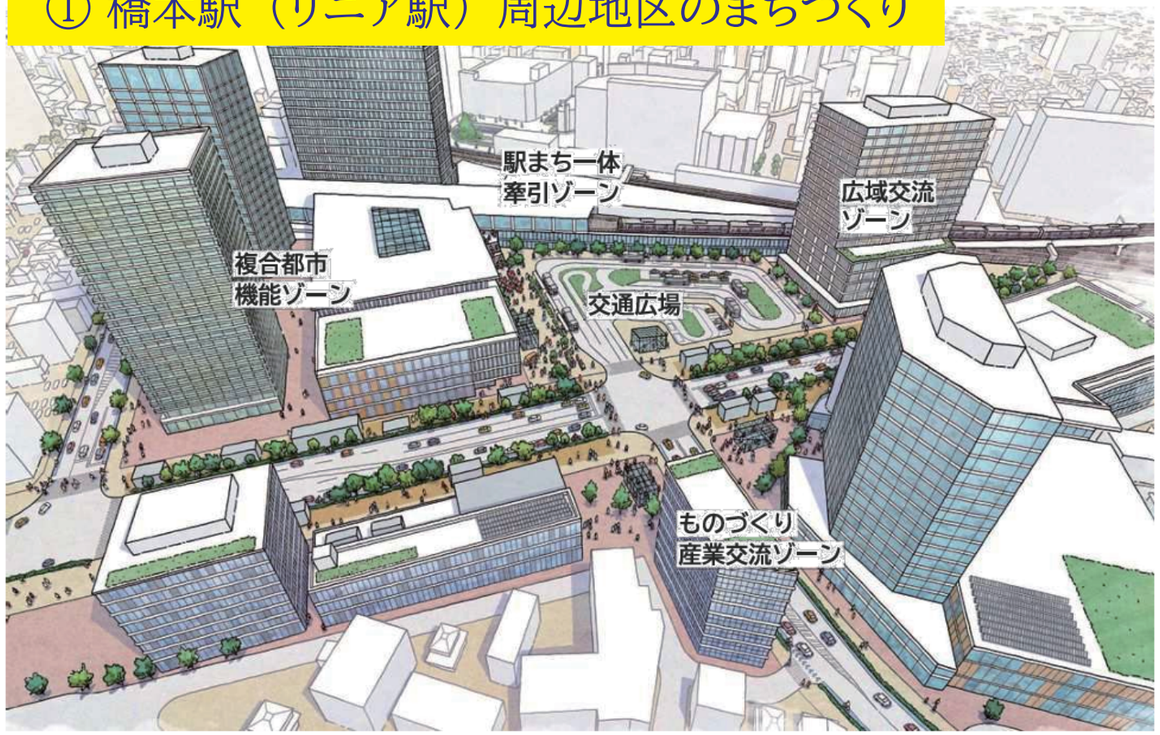
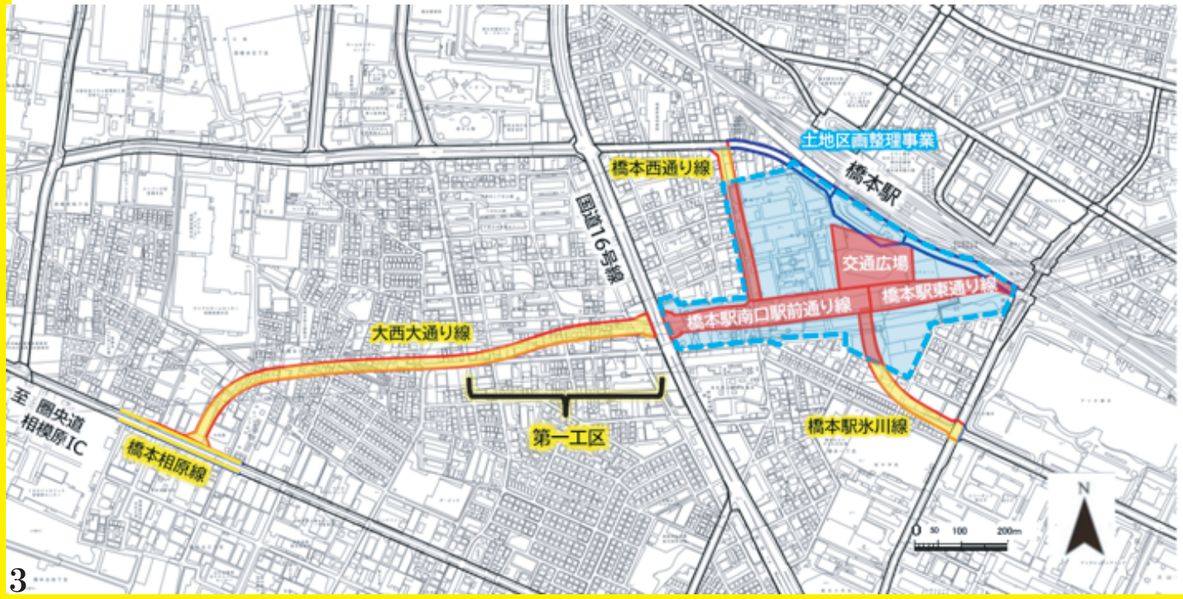
① 橋本駅（リニア駅）周辺地区のまちづくり



注）このイメージ図は、まちづくりガイドラインに記載の内容を踏まえて本地区の将来の土地利用をイメージしたものであり、
施設配置や高さなど、具体的な開発計画に基づくものではありません。

橋本駅周辺地区では「産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点」としての役割を担うため、三大都市圏を結び、鉄道や道路によって首都圏の各方面にアクセスが可能な交通ネットワークを活かし、交流ゲートとしてのまちづくりを進めます。
また、周辺部が工業系の用途とされ、産業集積や起業支援（インキュベーション）施設の立地があることから、リニア駅との近接性を生かし、産業交流拠点、イノベーション拠点としての機能集積を図っていきます。

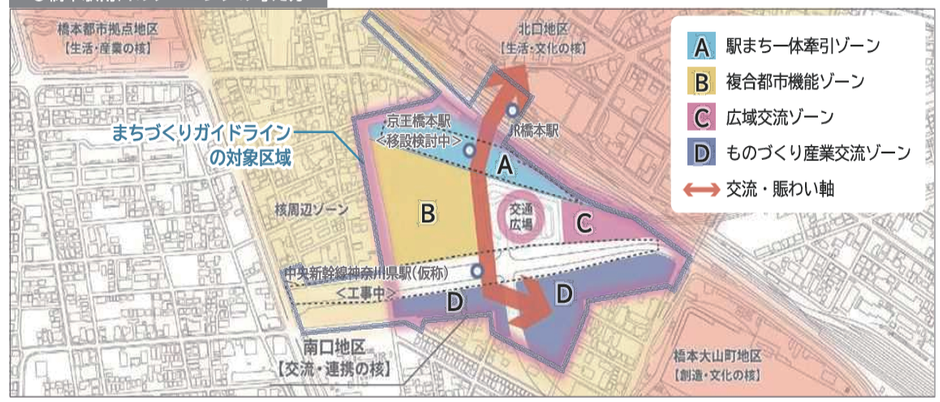
周辺の道路整備も進めています



リニア駅周辺まちづくりガイドライン
リニア駅周辺まちづくりイノベーション戦略を策定しました



●橋本駅南口のゾーニングの考え方



まちづくりガイドラインに基づく まちのイメージ

まちづくりガイドラインの誘導方針を踏まえて、今回新たにコンセプトの展開イメージと土地利用のイメージを描きました。このイメージをきっかけに、まちでの過ごし方の想像を広げ、市民の皆様と一緒に空間づくりを進めていきます。



交流・賑わい軸や緑と憩いの軸のイメージ

Technology／くらしを変える先端技術の拠点となる

広域の産業・研究開発機能と連携する拠点を形成し、ロボットや航空宇宙、生活支援技術、ICT等の先端技術がそばにあるまちを目指します。

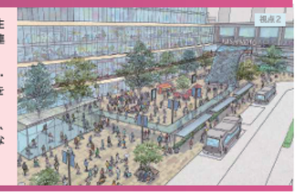
- 学生、起業家、研究者等多様な人材の交流・結合を促進するなど、イノベーションが生まれる環境の形成
- 地区内外での移動の利便性向上に向けた自動運転やAI等を活用した新たなモビリティサービスの導入を検討



Platform／新たな価値を創造する土壌がある

リニアがもたらす人々の交流や活動の圏域の拡大を生かし、まちに集まる多様な人々をつなぎ、出会いの連鎖を引き起こすことで新たな価値を創造します。

- 「まちに開われる場」を形成し、橋本で住む人・働く人・学ぶ人・訪れる人が出会い、ともにまちを育てることで、橋本ならではの一歩先の未来を実現
- エリアマネジメントの仕組みづくりを視野に入れ、パブリックスペースの良質な空間の管理・運営などには、民間事業者のノウハウの活用を図る。



Green Life／環境共生型ライフを実現できる

都市部での脱炭素型まちづくりと豊かな自然環境との連携により環境共生型ライフスタイルの実現を目指します。

- ゆとりある歩行者空間を生かし、植栽を連続して配置することで緑を身近に感じられる開放的な空間を形成
- 土地利用の計画の深度化に合わせ、まちの個性を感じる「やまなみ」の眺望が確保された視点場の設置や、周辺市街地との調和に配慮した沿道への緑化施設の配置などを検討



新駅の地下空間に想定する機能を検討しています

地下通路	リニア駅、在来線駅を繋ぎ、アンブレラフリーで移動が可能
駐車場	リニア駅設置により見込まれる需要やパークアンドライドに対応

防　災	非常時に防災機能として活用
目的施設等	駅間通路沿いにイベントスペース等を設け、可変的な利用を行うことで動線に滞留による賑わいや消費が発生

